

PARTNER-Jet2

BusTraceUnit50P 変換 100P

[型番 BUS50PtoR100P]

マニュアル

本製品は、JTAGデバッガ『PARTNER-Jet2』『BusTraceUnit』用変換オプションになります。PARTNERは、効率的なターゲットシステムのデバッグ環境を提供するために京都マイクロコンピュータ株式会社が開発、製造、販売している製品であり、たいへん有用なツールとして長く使用していただけるものと確信いたします。本製品の性能を十分に引き出してご使用頂くために、取扱説明書を熟読されるようお願い致します。



- ★ 本プログラム及び説明書は著作権法で保護されており、弊社の文書による許可がない限り複製、転載、改変等一切お断りいたします。
- ★ PARTNER(ハードウェア、プログラムおよび説明書)に関する著作権、販売権および総ての権利は京都マイクロコンピュータ株式会社が所有します。
- ★ 本製品の内容および仕様は予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。
- ★ 本製品は、万全の注意を払って製作されていますが、ご利用になった結果については、京都マイクロコンピュータ株式会社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ★ 本書で取り上げるプログラム名、システム名、CPU名などは、一般に各メーカーの商標です。
- ★ 製品の仕様や機能は予告なく変更される場合があります。

Copyright (C) 2015 京都マイクロコンピュータ株式会社

ADDOC151017

取り扱い上の注意

本書では製品を安全にお使いいただくための項目を次のように記載しています。



特定しない一般的な注意・警告を示します。



感電のおそれがあることを示します。



発煙または発火のおそれがあることを示します。

本製品を安全にお使いいただくために次の注意事項をお守りください。



煙や異臭、異音が生じたら使わない

万一、発熱、煙、異臭、異音が発生したら、すぐに電源を OFF にして、USB ケーブルや電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると感電や火災のおそれがあります。



分解・修理・改造はしない

本製品を分解・修理・改造しないでください。誤動作の原因となるばかりでなく、感電、火傷、けがのおそれがあります。



本製品内に異物(液体・金属等)を入れない

コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が本体製品内部に入らないように気をつけてください。通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電や火災のおそれがあります。



ぬれた手で本製品や電源コードを触らない

ぬれた手で本製品や電源コードを触らないでください。感電するおそれがあります。



高温、多湿、ほこりの多い場所や直射日光のたる場所に置かない、使用しない

本製品をほこりの多い場所や湿気の多い場所、直射日光のあたる場所には置かないでください。本製品の故障、および火災になるおそれがあります。



重いものを上にのせたり圧力をあたえない

本製品の上に重いものをのせたり、圧力がかかるような環境に置かないでください。本製品の故障、及び火災になるおそれがあります。



落としたり、振動や衝撃をあたえない

本製品及び付属物を高いところから落としたり、振動や衝撃がかかるような環境に置かないでください。本製品の故障の原因となります。



急激な環境(温度や湿度)で使用しない

本製品を温度や湿度が急激に変化する環境下で使用しないでください。本製品の故障の原因となります。



コネクタの接続や電源投入順序を守る

ターゲットボードとの接続や電源の投入は本書の説明を熟読してから作業を開始します。間違った接続をされると故障や火災になる可能性があります。不明な点はお問い合わせください。



通風孔をふさがない

製品の底部や上部にある通風孔をふさがないように注しててください。過熱による故障や火災になる恐れがあります。

輸出に関する注意事項

本製品を日本国から輸出する場合は、安全保障貿易管理制度の輸出者等遵守基準に従い、該非確認(該非判定)を行った上で輸出する必要がございます。

目次

取り扱い上の注意	2
1 製品構成[BUS50PtoR100P]	4
2 コネクタ型番	4
3 ピン配置	5
4 JP 設定	7
4.1 CS の設定	7
4.1.1 JP1 CS0# (76 ピン) 使用設定	7
4.1.1 JP2 CS1# (80 ピン) 使用設定	7
4.1.2 JP3 EXCS0# (82 ピン) 使用設定 出荷時設定	8
4.1.3 JP4 EXCS1# (86 ピン) 使用設定	8
5 基板寸法	9

1 製品構成[BUS50PtoR100P]



図1 製品構成

BusTraceUnit50 ピン変換アダプタ 100P 基板(BUS50PtoR100P)

プローブの接続やケーブル(フレキシ基板)の取り扱いおよびターゲット基板への接続の方法や注意事項は、Jet2ハードウェアマニュアルを参照ください。

2 コネクタ型番

molex 社製 53627-1074

ターゲット基板側コネクタは molex 社製 52885-1074 等ご使用ください。

3 ピン配置

1 番ピンの位置は寸法図参照してください。各信号の説明は BusTraceUnit50P を参照してください。

ピン	信号名	50P 接続先	備考	ピン	信号名	50P 接続先	備考
1	+5V		*1	2	+3.3V		
3	GND			4	GND		
5	D0	15		6	D16		*1
7	D1	17		8	D17		*1
9	D2	16		10	D18		*1
11	D3	18		12	D19		*1
13	D4	21		14	D20		*1
15	D5	23		16	D21		*1
17	D6	22		18	D22		*1
19	D7	24		20	D23		*1
21	D8	27		22	D24		*1
23	D9	29		24	D25		*1
25	+5V		*1	26	+3.3V		
27	GND			28	GND		
29	D10	28		30	D26		*1
31	D11	30		32	D27		*1
33	D12	33		34	D28		*1
35	D13	35		36	D29		*1
37	D14	34		38	D30		*1
39	D15	36		40	D31		*1
41	A0	9		42	A13		*1
43	A1	11		44	A14		*1
45	A2	39		46	A15		*1
47	A3	41		48	A16		*1
49	+5V		*1	50	+3.3V		

50 ピン以降次ページ(51-100 ピン)へ

前ページ(1-50 ピン)の続き

ピン	信号名	50P 接続先	備考	ピン	信号名	50P 接続先	備考
51	GND			52	GND		
53	A4		*1	54	A17		*1
55	A5		*1	56	A18		*1
57	A6		*1	58	A19		*1
59	A7		*1	60	A20		*1
61	A8		*1	62	A21		*1
63	A9		*1	64	A22		*1
65	A10		*1	66	A23		*1
67	A11		*1	68	A24		*1
69	A12		*1	70	A25		*1
71	+5V		*1	72	+3.3V		
73	GND			74	GND		
75	WE0#	5		76	CS0#	10	*3
77	WE1#	6	*2	78	BS#		*1
79	WE2#		*1	80	CS1#/A26	10	*3
81	WE3#		*1	82	[EXCS0#]	10	*3
83	GND			84	GND		
85	RD#	42		86	[EXCS1#]	10	*3
87	[IRQ#]		*1	88	[NC]		*1
89	NC		*1	90	[EXWAIT#]		*1
91	FRESET#			92	[NC]		*1
93	GND			94	[CLKOUT]		*1
95	+5V		*1	96	+5V		*1
97	+3.3V			98	+3.3V		
99	GND			100	GND		

注1. *1 の信号は、本製品では使用しません。また基板内で接続されていません。CPU 側でサポートされている場合にターゲット側のコネクタに接続することを推奨します。

注2. *2 の信号は、未使用です。基板内で接続されています。

注3. *3 これらの信号は、JP で切り替えて使用します。JP 説明を参照してください。

4 JP 設定

4.1 CSの設定

ターゲット CPU とコネクタの CS の設定です。100P コネクタのどの CS を使用するか設定します。必ず JP1-4 のいずれかに設定してください。

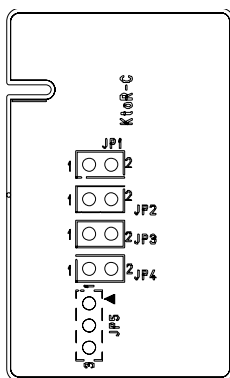


図2 JP

4.1.1 JP1 CS0#(76ピン)使用設定

JP 設定	設定内容	備考
1-2	CS0#と接続	BusTraceUnit50P で CS0# (76 ピン) 使用。
オープン	未接続	BusTraceUnit50P には、なにも接続されません。

表 JP1設定

4.1.1 JP2 CS1#(80ピン)使用設定

JP 設定	設定内容	備考
1-2	CS1#と接続	BusTraceUnit50P で CS1# (80 ピン) 使用。
オープン	未接続	BusTraceUnit50P には、なにも接続されません。

表 JP2設定

4.1.2 JP3 EXCS0#(82ピン)使用設定 出荷時設定

JP 設定	設定内容	備考
1・2	EXCS0#と接続	BusTraceUnit50P で EXCS0# (82 ピン) 使用。
オープン	未接続	BusTraceUnit50P には、なにも接続されません。

表 JP3設定

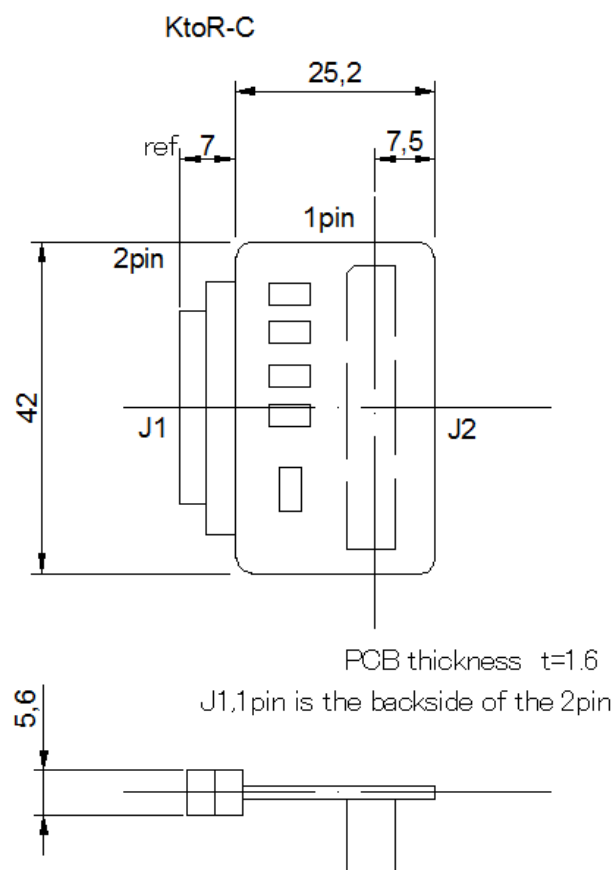
4.1.3 JP4 EXCS1#(86ピン)使用設定

JP 設定	設定内容	備考
1・2	EXCS1#と接続	BusTraceUnit50P で EXCS1# (86 ピン) 使用。
オープン	未接続	BusTraceUnit50P には、なにも接続されません。

表 JP4設定

5 基板寸法

Bus-Trace コネクタ基板(BUS50PtoR100P)



PARTNER-Jet2
BusTraceUnit50P 変換 100P
[型番 BUS50PtoR100P]
マニュアル

第2版 発行日2015年10月

京都マイクロコンピュータ(株)

Copyright 2015 Kyoto Microcomputer Co.,LTD.